



令和4年第2回富谷市議会臨時会

市長挨拶

令和4年5月27日

富谷市長 若生 裕俊

～『住みたくなるまち日本一』を目指して～

本日ここに、令和4年第2回富谷市議会臨時会が開会されるにあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。

議会の皆様には、日頃より市勢発展のためご尽力をいただいておりますことに改めて感謝を申し上げます。

本臨時会につきましては、職員の給与に関する条例の一部改正のほか、3月16日に発生した「福島県沖を震源とする地震」に伴う、各公共施設の災害復旧に関する予算、コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」としての住民税非課税世帯等及び低所得の子育て世帯に対する臨時特別給付金に関する予算などについて、ご審議をお願いしたく、招集させていただいたものでございます。

はじめに、3月16日に発生した「福島県沖を震源とする地震」について申し上げます。

3月16日、午後11時36分、福島県沖を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生いたしました。被害を受けられた全ての皆様に心からお見舞いを申し上げます。

本市では、震度計にて震度5強が観測された同時刻に災害対策本部を設置し、3号配備体制で市内全域における被害状況の確認を行ってまいりました。

被害状況につきましては、人的な被害といたしまして軽症者1名、ライフラインへの影響として、市内北部地域3,573戸においての断水が発生しました。断水につきましては、給水活動を行いながら早期の復旧に努めたところです。

また、市内小中学校をはじめとする、公共施設におきましては、天井ボード及び照明器具の落下、内壁・外壁の破損など150か所以上もの被害が発生いたしました。

特に学校給食センターについては、天井、壁の一部崩落及びダクトの損傷等によって、新学期を迎えた4月の学校給食を休止せざるを得ない状況となりました。今月9日から一部の工程を除いて、給食を再開しておりますが、公共施設の利用制限及び断水と併せて多くの皆様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

東日本大震災の発生から 11 年が経過いたしますが、市といたしましては、市民の皆様の生命、財産を守るため、引き続き危機管理体制の充実に努めるとともに、地域の皆様、そして、消防、警察、自衛隊などの関係機関との連携を図りながら、災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

次に、新型コロナウイルス感染症への市の取組について申し上げます。

市民の皆様には、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の推進にご理解とご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。また、最前線でご尽力されている医療従事者の皆様に対し、心より感謝を申し上げます。

現在、国内においてもオミクロン株の中でも、より感染力が強いとされる「BA. 2」に置き換わりが進んでいることから、新規感染者数は高止まりの状態にあります。宮城県においては、今月 15 日をもって「再拡大防止期間」が終了いたしました。市民の皆様におかれましては、引き続き基本的な感染対策を徹底していただくようお願いを申し上げます。

このような状況の中、新型コロナワクチンの 3 回目接種につきましては、12 歳以上の対象者の方に対して、2 回目接種から 6 か月を経過した方へ接種券を発送し、5 月 26 日現在での 3 回目の接種人数は 29,451 人で、接種率は 63.5 パーセントとなっております。

また、小児への接種につきましても、3 月 9 日から開始し、1 回目の接種人数は 1,041 人で、接種率 25.8 パーセント、2 回目の接種人数は 944 人で、接種率 23.4 パーセントとなっており、希望する方が早期に接種できるよう努めております。

なお、4 回目の接種につきましては、対象者の方に、接種券を発送し、5 月 25 日から順次接種が開始されております。

今後とも、新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、各関係機関と密に連携しながら迅速な対応に努めてまいります。

次に、富谷宿観光交流ステーション「とみやど」について申し上げます。

「とみやど」は、昨年 5 月 15 日のオープンから 1 年を迎え、今月 14、15 日の両日、「とみやど 1 周年記念祭」を開催いたしました。15 日には過去 2 番目となる 2,132 人が来場するなど、これまで多くの市民の方々に支えられ、5 月 25 日現在、推計で延べ 18 万 6 千 43 人の方に訪れていただきました。ここまで来る

ことができたことに深く感謝を申し上げます。

1周年を契機に運営を充実させ、富谷の観光交流の拠点としてさらに発展させてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

最後に、民間事業者発表の「自治体評価ランキング」について申し上げます。

今月17日に、株式会社リクルートによる「SUUMO 住民実感調査 2022 宮城県版」が発表され、本市は、子育てサービスや、介護・高齢者向けのサービスの充実に関して高い評価をいただき、「住み続けたい自治体ランキング」で宮城県第1位となりました。昨年度も各民間事業者の自治体評価ランキングにおいて、高い評価をいただいておりますので、引き続き、本市の将来像「住みたくなるまち日本一」を目指して、まちづくりに取り組んでまいります。

以上、本臨時会の開会にあたりましての挨拶とさせていただきます。議会の皆様には、趣旨をご理解いただき、ご審議賜りますようお願い申し上げます。